

2019年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社三光マーケティングフーズ
 本店所在地 東京都中央区新川一丁目10番14号
 代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 長澤 成博
 (コード番号 2762 東証二部)
 問 合 せ 先 取締役執行役員社長室長兼サポートセンター長
 富川 健太郎
 TEL 03-3537-9711 (代表)

2019年6月期通期業績予想値の修正及び特別損失の計上、

中間配当（無配）の決定と期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年6月期第2四半期累計期間において、特別損失を計上いたしました。また、2018年8月10日に公表いたしました2019年6月期の通期業績予想値及び配当につきまして、最近の業績動向を踏まえ下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。これに加え、2018年12月31日を基準とする剰余金の配当（中間配当無配）を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年6月期通期業績予想値の修正（2018年7月1日～2019年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	12,200	120	150	50	3.47
今回修正予想(B)	11,000	△900	△870	△1,300	△90.35
増減額(B-A)	△1,200	△1,020	△1,020	△1,350	
増減率(%)	△9.8	-	-	-	
(ご参考) 前年同期実績 (2018年6月期)	12,464	△493	△424	△1,656	△115.13

修正の理由

2019年6月期第2四半期累計期間につきましては、業種・業界の垣根を越えた競争が激化していることに加え、相次ぐ天候災害が発生いたしました。また、年末の商戦期においては、法人における団体利用機会や利用規模の縮小などにより、「居酒屋」が総じて低迷する中、売上高が当初想定を下回る結果となりました。

現在、鋭意構造改革を進めておりますが、現時点において、第3四半期以降につきましても急激な業績の回復が見込めないことから、2019年6月期通期業績予想値における売上高につきまして、下方修正しております。

利益につきましては、売上高の計画未達に加え、人材採用難や人件費の増加、原材料価格の高止まり、物流費の上昇、さらに収益の改善が見られない店舗について減損損失を計上したことなどにより、2019年6月期通期業績予想値における営業利益、経常利益及び当期純利益につきまして、それぞれ下方修正しております。

2. 特別損失の計上について

今後も厳しい経営環境が続くと予想されること、当該状況の改善が進行過程であることを踏まえて各店舗の将来収益を保守的に見積もった結果、店舗の固定資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2019年6月期第2四半期累計期間において3億1百万円の減損損失を計上いたしました。

3. 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績
		(2018年8月10日公表)	(2018年6月期中間配当)
基準日	2018年12月31日	同左	2017年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	2円00銭	8円00銭
配当総額	-	-	115百万円
効力発生日	-	-	2018年3月12日
配当原資	-	-	利益剰余金

4. 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	2円00銭	2円00銭	4円00銭
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2018年6月期)	8円00銭	8円00銭	16円00銭

修正の理由

当社は、収益力の向上及び財務体質の改善を図りながら、長期的かつ安定した配当及び利益還元を行うことを基本方針としております。しかしながら、通期業績におきましては、当初の予想を大きく下回り、大幅な当期純損失となる予想のため、1株当たり2円を予定していた中間配当を無配とする決議をいたしました。また、当期の期末配当につきましても、1株当たり2円を予定しておりましたが、現在の事業状況を勘案し慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら、無配とさせていただく予定であります。

(注意事項)

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上